

学校教育目標

一人ひとりの生きる力を高め、進路の保障を図るとともに、豊かな人権感覚を育てる

「一人一人」をかけがえのない
「一人」として尊重する
(人権を通じての教育の保障)

豊かな人権感覚を育てる
(人権についての教育の保障)

○一人一人の置かれている状況から
出発する

- ・一人一人がかけがえのない存在として大切にされ、個性・能力の違いを大切にされ、心の居場所のある学級づくり。
- ・一人一人が教育実践の出発点である。
- ・一人一人が自己の素晴らしさを実感できる機会を大切にする。

○全教育活動を通して、全ての人々を
かけがえのない人として受け入れる
豊かな人権感覚を育てる。

○あらゆる人権問題に対して
積極的に向かい合い
その解決の方法を
探究できる豊かな
人権感覚を育てる。

目指す子ども像

- 正しく判断し、行動できる
たくましい子ども
- 自ら課題を見つけ、
自ら学ぼうとする子ども
- 自分の思いを豊かに表現できる子ども
- 自分を認め、友達の良さを取り入れて
高まろうとする子ども
- 目標に向かって、ねばり強く、
最後まで取り組める子ども

○ 生きる力を
高める

- ・「生きる力のプロフィール」を活用し、具体的な行動目標を設定し、家庭・子ども・学校の三者で連携して取組を進める
- ・発達段階に応じて子ども自らが「生きる力」を意識できるようにする
- ・人間としての生きる力、自らの進路を切り拓き、生き方を探究する力を保障する。

○ 学ぶ力を十分に引き出し、学びに
向かう積極的な姿勢を育てる

- ・単元を通して大切にしたい4つの姿(意欲・方法・出会い・波及)を位置づける。
- ・励まし育てるとともに、指導すべきことは指導しきる。
- ・個に応じた指導の徹底を図る。
- ・教科担任制を活用する。
- ・指導に生かす学習評価の充実を図る。
- ・家庭学習の定着と充実(家庭との連携)を図る。

○ 進路の保障を図る

- ・学力定着調査等、様々な調査結果の分析を活用し、個に応じた指導の徹底を通して「確かな学力」を保障する。
- ・指導案を伴う授業の公開をおこない、一人一人の子どもたちに届く授業であったのかを振り返る。
- ・研究プロジェクト(学習指導・読書指導・言語活動)を通して、授業力を高める。
- ・各学年で、基礎的・基本的な学習を徹底して指導する。

子どもたちの
自主的な学びを目指して

生きる力を高め、進路を保障する
(人権としての教育の保障)

子どもたちが明日の登校を待ち望む学校、働きがいのある学校、
市民ぐるみ・地域ぐるみの教育を推進する学校